

Android MSRモジュールプログラムマニュアル

AndroidMSRクラス

モバイルプリンター

改訂 1.02

目次

1. はじめに
2. メソッド

履歴

バージョン	対象 ライブラリ	説明
1.00	1.051	公開
1.01	1.052	記述漏れの関数を追加releaseInstance, startReader, stopReader
1.02	1.056	startReader, stopReaderを削除 削除に合わせて、サンプルコードを改変
1.03	1.070	androidMSRメソッドを追加 削除してあったメソッドの説明を消去

1. はじめに

この「Android MSRモジュールプログラムマニュアル」では、Androidモバイルアプリケーションの開発に必要なJarパッケージファイルから得られるメソッドについて説明します。

2. メソッド

AndroidMSRクラスで定義されています。

2.1. AndroidMSR

この関数は、USBPortConnectionのためだけのコンストラクターメソッドです。

AndroidMSR(DeviceConenction connection)

[パラメーター]

* connection

- USBPortConnection

2.2. getInstance

この関数は、インスタンスを取得するために使用されます。

AndroidMSRクラスは、Singletonパターンで作成されました。

AndroidMSR getInstance()

[戻り値]

AndroidMSRクラスインスタンス

2.3. releaseInstance

この関数は、getInstance()で生成されたインスタンスの削除のために使用されます。

void releaseInstance()

2.4. setHandler

この関数は、MSRデータをUIに送信するためのハンドラの設定に使用されます。

void setHandler(Handler handler)

2.5. getHandler

この関数は、MSRデータをUIに送信するためのハンドラの取得に使用されます。

Handler getHandler()

[戻り値]

Handler

2.6. isMSRStatus

この関数は、現在のプリンターのステータスがMSRモードであることを確認するために使用されます。

boolean isMSRStatus()

[戻り値]

true :現在のステータスはMSRモードです。

false :現在のステータスは標準モードです(非MSRモード)。

2.7. readMSR

この関数は、標準状態からMSR動作可能状態に変更し、MSRデータ伝送の要求を引数に従って設定します。

Int readMSR (int SelectTrack)

[パラメーター]

* SelectTrack

SelectTrack	MSRトラック
0x31[0011 0001]	トラック1
0x32[0011 0010]	トラック2
0x33[0011 0011]	トラック1、2
0x34[0011 0100]	トラック3
0x36[0011 0110]	トラック2、3
0x38[0011 1000]	トラック4
0x3B[0011 1011]	トラック1、2、4
0x3E[0011 1110]	トラック2、3、4

[戻り値]

CMP_STS_MSR_READ :関数が適切に処理されると、この値が戻されます。

CMP_STS_NORMAL:関数がMSRモードを変更できなかった場合に、この値が戻されます。

2.8. cancelMSR

この関数は、MSR動作可能状態を標準状態に戻すために使用されます。

void cancelMSR()